

温州ミカンの隔年結果を抑制する新たな低コストジベレリン散布方法の開発

低濃度ジベレリンと機能性展着剤の混用散布による低コスト化

背景・目的

- 生産現場において労働力の確保が厳しくなっており、均一な樹勢の維持が困難になっています。
- カンキツの花芽抑制技術であるジベレリン散布法(25~50ppm)は高価で普及が進んでいません。
- マシン油乳剤との混用散布によるジベレリン低濃度化の可能性及びマシン油乳剤代替としての機能性展着剤による効果を検討しました。

成果の内容

- 低濃度ジベレリンに機能性展着剤を混用することでウンシュウミカンの直花が減少します。
- 機能性展着剤に、さらに尿素を加えることで、新梢数が増加します。
- ジベレリン2.5ppmと展着剤1000倍の混用の薬剤経費は約1,300円/100Lです。

(表): ウンシュウミカンに対する低濃度ジベレリンと機能性展着剤の混用による着花数と新梢数

処理区	100節当たり			新梢数
	着花数			
	有葉花	直花	合計	
GA2.5ppm単用	30.8	48.6 b	79.4 b	14.9 ab
GA2.5ppm + マシン油60倍	20.7	19.2 a	39.9 a	24.6 b
GA2.5ppm + スカッシュ500倍	21.2	22.5 a	43.7 a	19.2 ab
GA2.5ppm + スカッシュ1000倍	27.3	7.5 a	34.8 a	19.2 ab
GA2.5ppm + スカッシュ1000倍 + 尿素500倍	22.0	13.2 a	35.2 a	26.6 b
無処理	21.9	58.7 b	80.7 b	6.6 a
有意性	n.s.	*	*	*



A: 無散布処理



B: 低濃度ジベレリン(2.5ppm)+マシン油乳剤(60倍)

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 従来のジベレリン単用の散布濃度に比べて、薬剤のコストが約87%減少します。
- 適正な着花や新梢の発生により隔年結果が是正され、安定した収量確保が見込めます。
- 着花が減少するので、摘果作業の軽減につながります。

- 普及対象地域・面積 ウンシュウミカン栽培地域全域 718ha

留意点

- 当技術を使用の際には、最新の登録内容を確認することが必要です。使用できるマシン油は「クミアイアタックオイル」、展着剤は「スカッシュ」のみです(平成30年11月時点)。